

第53回 HSG 研修会資料

2017年10月26日

| No. | 問題  | 選択肢  | 回答 |
|-----|---|--|----|
| 1   | セカンドショットで2度打ちならず3度打ち（1回のストロークで3回球を打つ）をしてしまいました。次打は何打目？  | (1) 6打目<br>(2) 4打目<br>(3) 5打目  |    |
| 2   | ティーショットを打ったらチョロしてしまい、球がティーマーカーの真後ろに止まってしまいました。ティーマーカーは抜き差し構造の為簡単に移動することができます。この状況で正しいのは？                                      | (1) ティーマーカーから1クラブレングス以内に罰なしでドロップできる<br>(2) ティーマーカーは固定物で動かすことはできないのでそのままプレーするしかない<br>(3) ティーマーカーはティーショットを終えたら障害物となるのでプレーの妨げにならない場所に動かして良い |    |
| 3   | そのホールの3打目となるバンカー越えのアプローチを失敗してバンカーに球を入れたプレーヤーが、明らかに練習のためではあるが「暫定球」と言いポケットから別の球を取り出し同じ場所からアプローチをしたところグリーンに乗りました。プレーヤーの次打で正しいのは？ | (1) ストロークと距離の罰により打ち直した球がインプレーとなりグリーン上の球を次が6打目でプレー<br>(2) 暫定球を宣言してあるので罰なしでバンカー内の球を次が4打目でプレー<br>(3) 練習の違反の2打罰を課してバンカー内の球を次が6打目でプレー         |    |
| 4   | バックスイングをしている最中に、アドレス時に球の手前の芝を押し込んだことが原因で球が動き出したが、そのまま打ってしまいました。罰の有無は？   | (1) 1打罰でそのままプレー<br>(2) 2打罰でそのままプレー<br>(3) 1打罰でリプレーして打ち直し   |    |
| 5   | バンカー内の球をプレーする時にAWとSWの2本のクラブを持って入りました。AWをバンカー内に置きSWでプレーしたところ、球はバンカーのあごに当たり置いてあったAWの方に転がってきたので、プレーヤーは慌ててAWを拾い上げました。罰について正しいのは？  | (1) バンカー内にクラブを置いたことによる2打罰と、球に影響を与えるかもしれない状況でクラブを動かしたことによる2打罰で計4打罰<br>(2) 罰なし<br>(3) 球に影響を与えるかもしれない状況でクラブを動かしたことによる2打罰                    |    |
| 6   | スルーザグリーンで同伴競技者のプレーの妨げになる球を拾い上げたところ、球には泥の塊が付いていました。違反とならないものは？   | (1) 泥をしたにしてティアップされた形にする<br>(2) 球は拭かないが泥の塊を落とす<br>(3) 泥がフェースと球との間に来ないように泥を前方方向に向けて球を置く  |    |
| 7   | カート道と排水溝の2つの動かせない障害物による障害が同時に発生した場合の処置で正しいのは？   | (1) 同時に2つ以上の障害が生じた場合は救済を受けられない。<br>(2) 1度の救済処置で同時に2つの障害が避けられるように処置する<br>(3) 1つの障害からの救済を受けた後で、もう1つの障害が残っていれば新たに救済処置を受ける                   |    |
| 8   | スルーザグリーンで同伴競技者のプレーの妨げになるために拾い上げた球をリプレーする際に、球に描かれたラインをプレーの線に合わせてリプレーしました。罰は？   | (1) リプレーの違反で1打罰<br>(2) 認められるので罰なし<br>(3) プレーの線の指示の違反で2打罰   |    |

| No. | 回答  | 解説   | 関連規則                         | 項目  |
|-----|-----|--|------------------------------|---|
| 1   | (2) | 1回のストロークで2回以上クラブに当たってしまうと1打罰が課されます。2度打ちでも3度打ちでも4度打ちでも罰は1打です。従ってこの場合、次打が4打目になります。   | 規則 14-4                      | (球の打ち方) 2度打ち  |
| 2   | (3) | ティーマーカーはティーショットを終えると障害物となります。問題の場合、簡単に動かせる構造なので動かせる障害物として扱うことになり、罰なしで取り除くことができます。  | 規則 11-2<br>規則 24-1           | (ティーインググラウンド) ティーマーカー<br>(障害物)動かせる障害物   |
| 3   | (3) | 練習目的のストロークはストロークとしてカウントされません。従ってストロークと距離に基づく処置にはならず、ホールのプレー中に練習をしたことによる2打罰を課して次が6打目でバンカー内の球をプレーしなければなりません。<br>暫定球は OB か紛失の恐れがある時以外は打つことができません。   | 規則 7-2<br>規則 27-1<br>規則 27-2 | (練習) ラウンド中の練習<br>(紛失球やアウトオブバウンズの球、暫定球) ストロークと距離: アウトオブバウンズ; 5分以内に見つからない球<br>(紛失球やアウトオブバウンズの球、暫定球) 暫定球 |
| 4   | (1) | プレーヤーが原因でインプレーの球が動いたので、1打罰が課されます。もしスイングを開始していなければリプレーしなければなりません(しなければ2打罰)、バックスイングやストロークを始めた後に球が動きそのままプレーした場合はリプレーの必要はなく1打罰でそのままプレーしなければなりません。  | 規則 18-2                      | (止まっている球が動かされた場合) プレーヤーやパートナー、またはそのキャディや携帯品   |
| 5   | (2) | バンカー内に使用しないクラブを置くことは認められています。球の動きに影響を及ぼすかもしれない状況で動かせる障害物などを動かすと2打罰となりますが、プレーやの携帯品と人が付き添っていたり抜かれて置いてある旗竿については例外となります。   | 規則 1-2<br>規則 13-4<br>規則 24-1 | (ゲーム) 球に影響を及ぼす、あるいは物理的条件を変える<br>(球はあるがままの状態プレー)<br>球がハザード内にある場合; 禁止<br>(障害物)動かせる障害物                   |
| 6   | (3) | 泥がフェースと球との間に来ないように球の向きを変えることは問題ありません。泥を落とすことは球を拭いたことになり規則 21 の違反により1打罰、泥でティアップした場合は正しい場所にリプレーしていないことになり、そのままプレーすると規則 20-3a の違反で2打罰となります。   | 規則 21<br>規則 20-3             | (球を拭くこと) 球を拭く(付着物を取り除く) こと<br>(球の拾い上げ、ドロップとプレー、誤所からのプレー) プレースとリプレー                                    |
| 7   | (3) | 動かせない障害物や異常なグラウンド状態による障害が同時に2つ以上発生した場合、1つずつ救済を受けなければなりません。カート道と排水溝の2つが同時に障害となっている場合、どちらか一方の救済を受けた後で、もう一方の障害が残っていれば新たに救済を受けることができます。そのため、排水溝からの救済を受ける時にニアスポイントがカート上になったり、カート道からの救済を受ける場合にニアスポイントが排水溝になる場合もあります。 | 規則 24-2<br>規則 25-1           | (障害物)動かせない障害物<br>(異常なグラウンド状態、地面に食い込んでいる球、目的外のグリーン)<br>異常なグラウンド状態                                      |
| 8   | (2) | 球をプレースやリプレースする際はラインなどをプレーに線に合わせて置くことが認められています。グリーン上でもグリーン外でも同様です。  | 規則 20-3                      | (球の拾い上げ、ドロップとプレー、誤所からのプレー) プレースとリプレー  |